

「チーム学校」の始動に向けて～生徒指導担当として確認しておきたいこと～

☑ チェックしてみましょう。チェックがつかなかった項目は、🔄 を年度初めの動きの参考にしてください。

魅力ある学校づくり

学校全体で…

- ☐ 全ての児童生徒が落ち着ける、安心・安全な学級・学校づくりを進めている。
- ☐ 日々の授業や行事等で、全ての児童生徒が互いにかかわる楽しさを実感したり、活躍したりすることができるようにしている。

🔄 (例) 年度初めの職員会で、「生徒指導リーフ Leaf.2」を配付。ポイントを伝え、未然防止の取組が、意図的に全職員で取り組まれる学校風土をつくる。

「生徒指導リーフ」は国立教育政策研究所HPからダウンロードできます。



生徒指導担当として…

- ☐ いじめや不登校の未然防止の取組が上手いっているのか否か、全職員で点検する場を年間計画に位置付けている。
- ☐ 未然防止の点検や早期発見のための手がかり(アンケート等)がある。

🔄 (例) PDCAサイクルの項目

【児童生徒意識調査】

- 学校が楽しい
- みんなで何かをするのは楽しい
- 授業に主体的に取り組んでいる
- 授業がよくわかる

詳細なデータ分析ではなく、全ての児童生徒の意識(メッセージ)と教職員の意識(イメージ)とのズレがないかを点検する。

今年度の重点 組織による「未然防止」「早期発見・早期対応」!

不登校(傾向)の児童生徒への支援

- ☐ 全職員で、欠席者への対応を共通理解している。
- ☐ 前年度の欠席日数が7日以上、又は欠席日数や保健室等登校が30日に近い児童生徒(※)を全職員や学年団で確認し、支援等を検討している。

🔄 (例) 年度初めの職員会で、欠席対応を【対応例】 共通理解し、対応の徹底を図る

- 欠席1日目：電話連絡
- 2日目：電話連絡又は家庭訪問
- 3日目：必ず家庭訪問

(※)の児童生徒への対応

2日連続して欠席した場合は、担任のみで判断せず、対応をチームで検討・開始(例：家庭訪問)する。

欠席への対応例の参考にしてください。

- ◆「あした、また学校でⅢ」(鳥取県教委 H27.3)
- ◆「西部教育局からのお役立ち情報H30.6月号」

いじめ問題への対応

- ☐ 自校の「学校いじめ防止基本方針」(いじめの定義や認知、情報の集約担当や対応の流れ等)について、全職員に周知している。

🔄 (例) 全職員対象とした研修の実施

「西部教育局からのお役立ち情報(H30.11月号)」や「いじめ対策に係る事例集(文部科学省)」の事例について意見交換し、いじめに対する共通理解を図る。

- ◆ 学校の「いじめ防止基本方針」に基づき、自分はどのように動けばよいかを考える。
- ◆ 自校のいじめ認知件数を全員で確認し、いじめの認知についての認識を共有する。



西部教育局では、各学校の生徒指導に関わる校内研修を支援します。お気軽に声をおかけください。